

僕の彼女は
野球部マナーギャー

ver.2.2

———そして合宿へ







野球部マネージャー
土屋 晴美
Tsutsiya Harumi



新入部員 2 年
桐島 真二
Kirisima Sinji



野球部キャプテン
坂上 真宗
Sakagami Masamune

野球部 3 年
相原 克也
Aihara Katsuya



野球部 3 年



桑野 勝
Kuwano Masaru



野球部 3 年
国分 大介
Kokubu Daisuke



体育教師
大久保 忍
O-kubo Shinobu



野球部監督
大橋 哲也
O-hashii Tetsuya



Kamiya Goro
野球部 2 年



Shimomura Shotaro
野球部 2 年



Kobayashi Tobio
野球部 2 年



Toriya Ponta
野球部 1 年



二年 桐島真二

一年のときは図書委員だったが
この春から野球部に入部することに

僕の彼女は
野球部マナーギャー

僕は田舎の小さな高校に
通っている――

春





そして
なぜか野球部に
入っていた

僕は2年に進級し――



そして今
合宿に来ている



その元凶の人物が
野球部キャプテン
坂上部長だ

恐ろしくてそんなこと
口にも出来ないけれど――

室内で本を読んで
静かに高校生活を過ごして
行きたかったのに――



どうしてこんなことに
なったのだろうか……
まず監督から
合宿すると話があり
部員皆が賛同した

僕を除いて

そもそもなぜ僕が
野球部に入って
しまったのか

そんな灰色の高校生活になってもおかしくない状況で

ただ一つ色彩を与えてくれる存在

土屋晴美

初恋の相手であり僕の初めての恋人

図書室

1年生の時図書委員だった僕たちは

図書室で二人過ごすうちにお互い惹かれ合った

田舎の小さな町小さな学校で

あまり目立ちたくなかった僕たちは

この交際をふたりだけの秘密にした

但至少し地味だった彼女が髪をショートに眼鏡をコンタクトにしていたことで

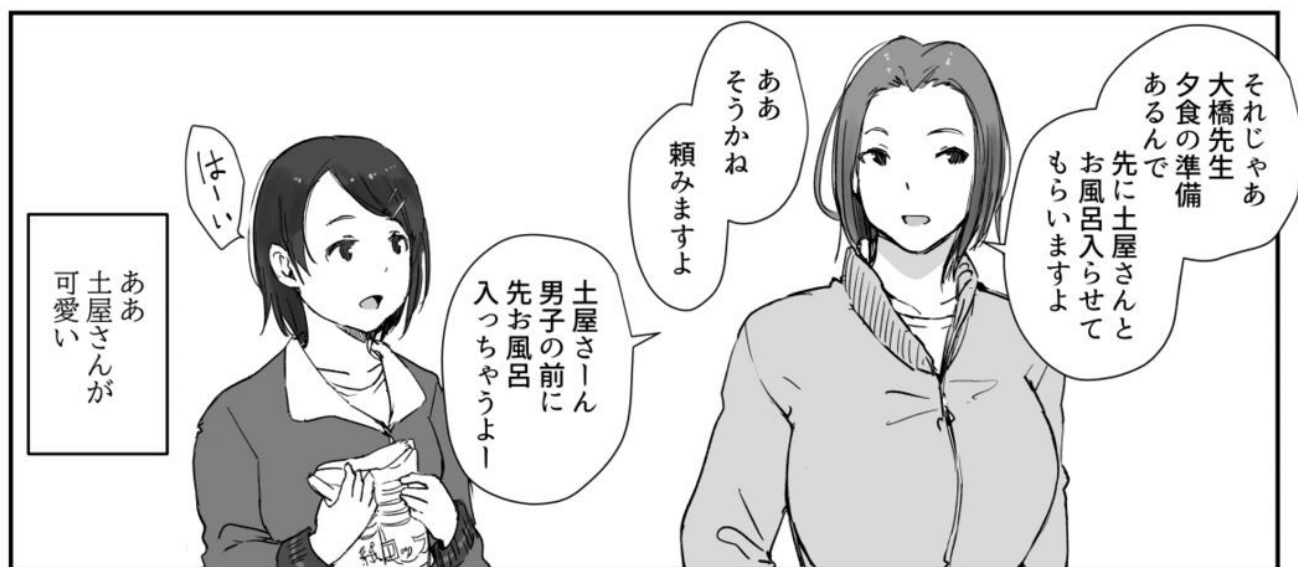
どんどん可愛くなっていき周りで話題になり始めてはいた

そんな中、僕が野球部に入部すると

彼女もまたマネージャーとしてついてきてくれたのだった

少し心配もあつたけれどその健気さがとても嬉しかった





合宿初日
夜

男子大部屋

2組の泉いるじゃん
バスケット部の

おー

あいつ性癖
ネトラレなんだぜ

3年生たち

家行ったら
AVも漫画も
人妻とか
ネトラレモノばっか

すげー
変態じゃね？

僕たち下級生は
厳しい監督の
言いつけを守り
消灯時間には布団に入り
就寝していた

ネトラレって？

え...？
ああ

オレもよく
知らねーけど
自分の彼女とか
嫁とか他の男に
ヤられるとか
そんなの

その何が
いいんだよ
意味わからん

いやオレも
全然わかんねーけど
人妻とかおっさんと
温泉旅行いって
酔わされて
ヤられちゃうとか
同窓会で元彼に
お持ち帰りされちゃうとか
すげーあるんだよ

めっちゃ
早口じゃん...
そんな
好きな奴いるか？

坂上部長以下
3年生たちは
いつもの通り

あんなに怖い
監督なのに
よくやるものだ

だから2組の
泉がそうなんだよ

じゃあ泉の彼女寝取ったら
めっちゃ喜ぶんじゃないか

泉に彼女いねーよ

ぎやはは

お前ら
あいつら寝てんだから
静かにしてやれ
つか
はよ寝ろ

あれ、坂上さんは
どっかいくんすか

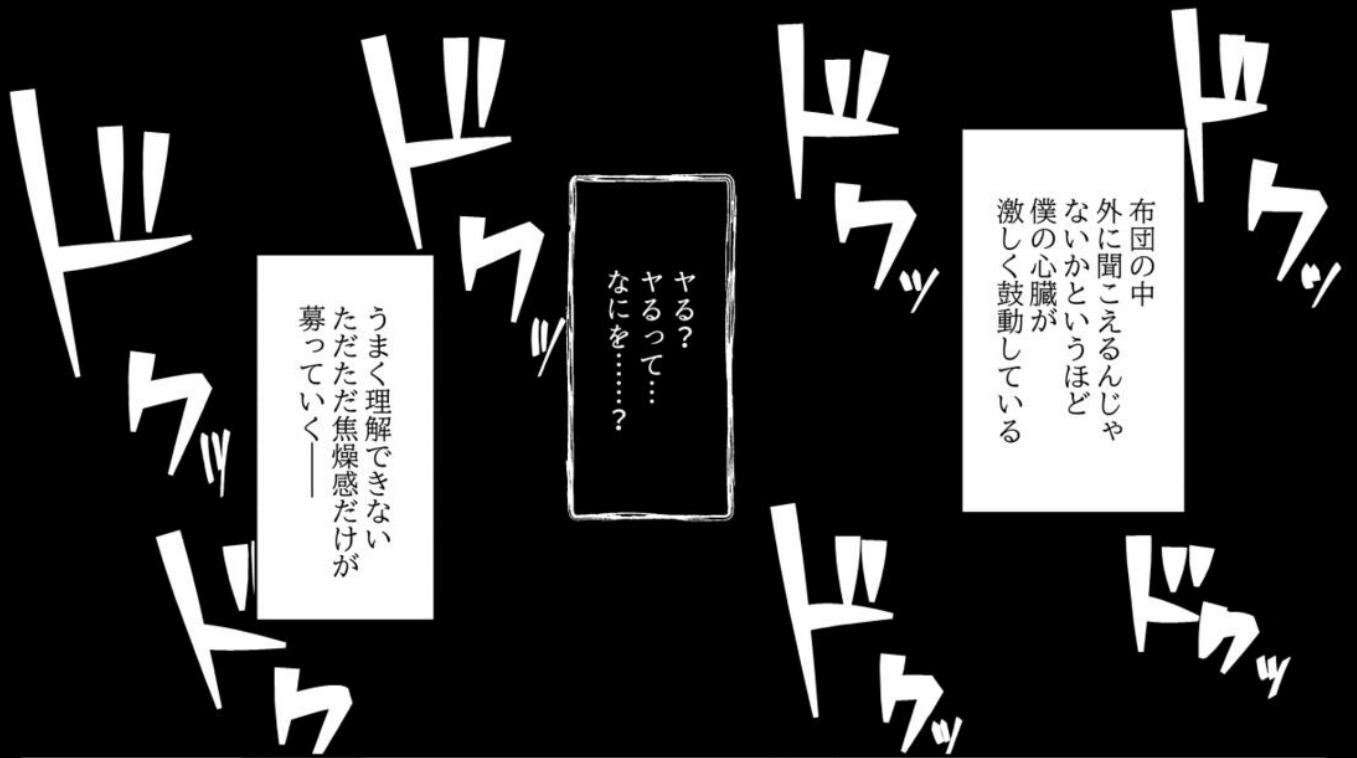
こんな男ばっかの部屋
暑苦しいからよ

ちよい女子の部屋
行ってくるわ



坂上部長が
僕の心臓を鷲掴みに
するようなことを
言った





だから嫌だったんだ

もしかしたら
こういうことが
起きるんじゃないかって

それでも彼女が
少しでも僕と
一緒にいたいから
なんて言うもんだから

可愛くて嬉しくて
彼女の純粋な気持ちに
水を差したくなかった

それに
体育の大久保先生が
つきそいでこの合宿に
来てくれるというから

そこまで
心配はして
いなかったのに

今はもう
野球部キャプテン
坂上部長の行動が
不安でしかたがない――

坂上部長は
何かの格闘技を
しているらしい

他校の不良百人を
ひとりでボコボコに
したなどという伝説
も持っている

野球部の3年生は
皆いわゆる不良と
いうやつで

その中でも坂上部長は
一目置かれていた

いま僕が野球部に
いるのも
坂上部長に
強制的に入部
させられたからだ

すべての始まりは
この人からなのだ

坂上さん
彼女いるって
言ってたかった？

えーそうだったって？
俺はセフレいるって
聞いたことあるけどな
ほんととかどーか
知らねーけど

でもさー
坂上さんの女って
見たこと無いよな

あーでも
ハメ撮りの
写真見せてもらった
ことあるぜ
どーせネットで
拾っただろーけど

相変わらず
先輩たちは
くだらない話を
している

ぎやはは

ドク

どうしたらいいー？

3年生たちの
ひそひそ声が
耳障りに布団の中へ
侵入してくる

さっきもさー
女子部屋行くとか
行ってたけど
マジかな？

坂上部長が今
何をしているのか

実はトイレで
シコってるとか？

ぶふっ！
それ言ったら
殺されっぞ

マジで
喧嘩だけは
つえーからなー
坂上さん

ん？

…さすがに
無理矢理
マネージャー
犯すとかねーよな？

こんなに不安なら
もういつそ
眠ってしまつて
朝になつてしまえば
いいのに…

どーだろ？



大丈夫
大久保先生も
大橋監督も
いるんだから
何かあるはずが無い

そう何度も
言い聞かせる

土屋さんの
顔が頭から離れない

坂上さんなら
ヤツでも
驚かねーけど

桐島くん

まじかー…

なんだよ
おまえ
マネージャーのこと
好きなの？

好き

いや…
あ…？

好きっ
てーかさー！

なんだよ

逆つてーか…

は？

先輩達の声がうるさい
話す内容がイライラさせる……

たぶんだけど
俺のこと好きなんじゃ
ねーかなーって

ねーよっ

いやいや…
すげー目が
合うんだって

なんか俺にだけ
優しい気がするし

だからもし
告られたら
付き合ってもいい
かなーとは…

うるさいうるさい
うるさいうるさい

なにその
上から目線

俺が告つて
みようかな
彼氏いないって
言つてたしー

な…なんでだよ！

マジでヤッてたら
どうする?
なにを意味
わかんないこと
言ってるんだよ……



お前ら…
頭…おかしいん
じゃないのか…?



そうして
先輩がひとり
部屋を出ていった

声からして
相原先輩だろう

あいつマネージャー
好きだったのかよ

てかお前も
好きなの？

頼むから
坂上部長を
連れ戻して――

あー俺はふつーに
可愛い女子と
ヤリてーって感じ

そっちなかよ

そして今すぐ
僕の心配を
杞憂にして欲しい

じゃあ今度
俺らでヤツちやわね？

ふつーに呼び出したら
マネージャー
どこでも来てくれそー

うわーお前
悪いやつだな

ってか想像したら
勃ってきたかも

頭の中が
想像したくも
ないことで
ぐるぐる駆け巡る

あーこの合宿中に
なんとか
ヤレねーかなー

大丈夫だよ

そんなこと
あるわけないよね

土屋さん……っ



うそだ

うそだ

僕は勘違いしてたんだ

これは少年漫画じゃない

うそだ

うそだ

うそだ

意味がわからない

ヒロインのピンチに
駆けつけるヒーローなんていない

ヤッてた？

体が**寒い**

汗があふれ出る

土屋さんのもとへ
走らなきゃ
いけなかったのは……
僕……？

気持ち悪い……

吐き気がする

誰か

陳世と

言ふに
如

二年 土屋晴美

この春から野球部マネージャー
桐島真二と交際中



合宿初日の夜

大久保先生と
マネージャーの
宿泊部屋

ギャー...

こんばんわー

マネージャーを
夜這いにきましたー

わたしは
慣れない環境と作業に
疲れていたのか
いつもより早くに
眠っていた

おい
土屋…

お
なんだ
もう
寝てんのか

おい
起きないと
このまま
ヤツちゃうぞ

土屋ー

は…はい

ん……？

えっと…
大久保…先生は？

さあ？

さかがみ…
先輩…？
ど…どうしたん
…ですか？

え…っ

よっ



んー？
いや土屋と仲良く
しようと思つて

え…あの

坂上先輩の目が
いつもより
怖い…

あの…っ
坂上先輩…



あ…あの…
何でしょうか…？



あの…

あの…っ

なんだ
土屋？

な…何を…

何って
お前…っ
わかるだろ
土屋？



ちよつと
黙れ…土屋

ぐい

ひ…っ



い…いや…

いいから
大丈夫だから

や…やめて…
ください







いけるか
土屋?

夢じゃないの...?



やだよお...っ



今から
やめるとか
ねーから

ほら
挿入れるぞ

おお
土屋
すっげー
キツマンだな



動くぞ

もうちょい
濡らせよ





気持ちいいか
土屋？

そんな…

あつあつ

膣内
ヌルヌルに
なってきたな

よし
本気に
突くぞ



……っ!?

うそ……っ

ビュ————

ビュ————

ビュ————ビュク

あ——

あ

は

は

わたし……

ん

く"ふ..ふ

イッちやった…?

ズル…

グ"あ

ビク

グ"あ

お

なんでえ…?

アハハ

くそ……

ガチャ

ま…まじか

おじやま
しまーす…

あつ？
なんだ
お前ら

坂上さーん
ずるいつすよー
俺らも
呼んで
くださいよ

来んなって
言ったら

うおっ！
坂上さんっ
まじでヤツちゃ
つてるじゃん

マジかよ…

ヤバッ
マネージャー
えっろ

いいなー

こら
入ってくんな

とりあえず
部屋で待ってろ

それは
ないつすよー

もうちよい
したらオレも
部屋戻るから

交代つす
よねっ！？

わかった
わかった

ふう

ふう

ふう

うひょーっ

うっ！

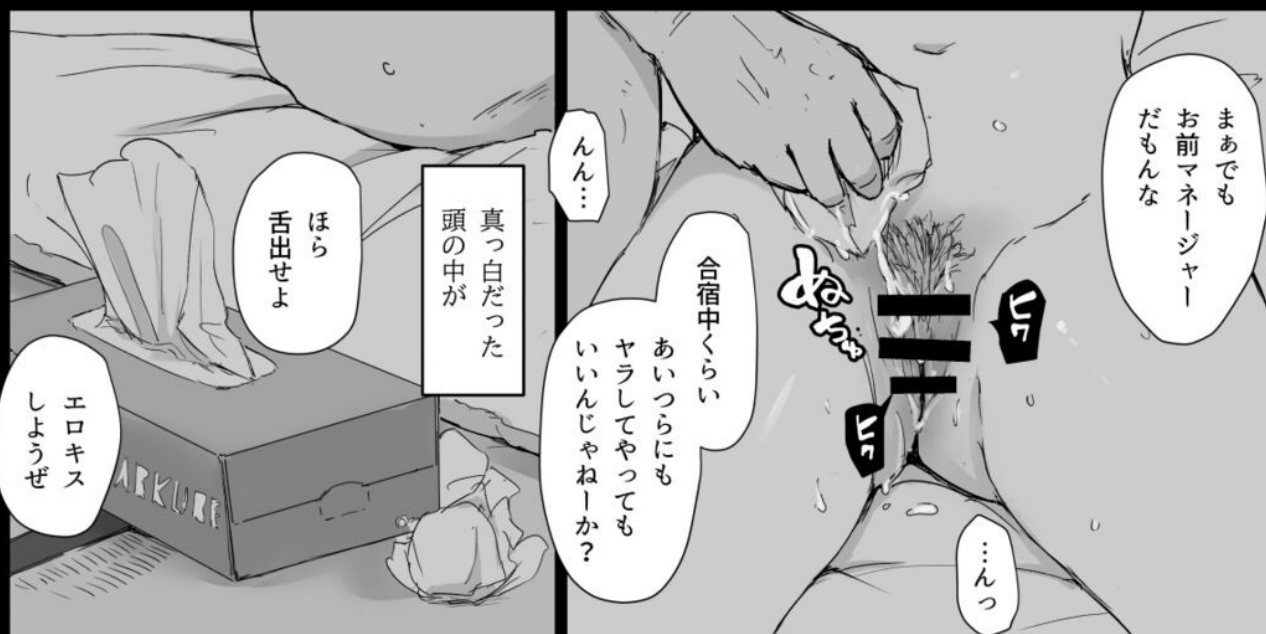
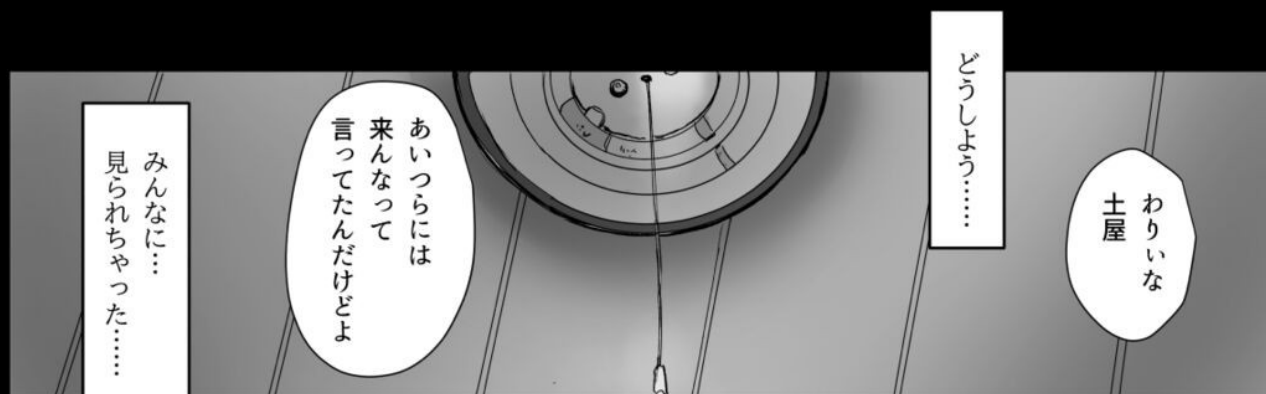
マジで？

マジで
いいんすか？

ほら
行けって

オレの
邪魔すんな

サーセンっす！





掃除も
マネージャーの
仕事だからな

はじめての
フェラチオ

丁寧
に舐めろよ

さっきまで
わたしの膣奥に
入っていたモノ

舐めると舌先で
ビクビクと反応し

大きく
硬くなった

そこ
気持ちいいぞ
土屋

ほら
もっと

坂上先輩のこと…
好きでもないのに

これくらい
奥まで
頑張れよ

やっぱり怖くて
拒否するなんて
できなかった

ん…っ
ぐう…



暗い部屋の中

桐島くんたちは
もう寝ていたと
坂上先輩は言った

先生たちのことも
心配するなど

……だから
何も気にせず

気持ちよく
なってもいいって

わたしは
坂上先輩に

キスの仕方と

セックスの
気持ちよさを

一から
教えられて
しまったのだ



ふー

思考にもやが
かかったように

なにもかも
どうでも良く
なっていく



お腹の腔内^{なか}の
一番奥を
坂上さんので
無造作に突かれる

硬く張り出した
坂上さんの力りが

腔壁のお腹側にある
知らなかった
快感の場所を

ぐりぐりと
擦っていく



勝手に腰が浮いて
背筋が反り

もっと気持ちよく
なるために
わたしは自ら
腰を振っていた



突かれることに
快感が増し









しばらく
ぼーっとしたあと
少し恥ずかしくなって
服を着た



坂上先輩との余韻が
まだ体に残っている



自分がしたこと
の罪悪感が
増していった



体のほてりが
徐々に冷めていくうち

三年 相原克也

野球部センター
野球部の中では自分が一番イケメンだし
マネージャーは自分に気があると思っている
童貞



コン
コン

ザッ

あー…
マネージャー…
いる？

入っても
いいかな…？



は…

…はい

ゴク

あの明るくて

爽やかで

相原先輩は
野球いつから
やってるんですか？

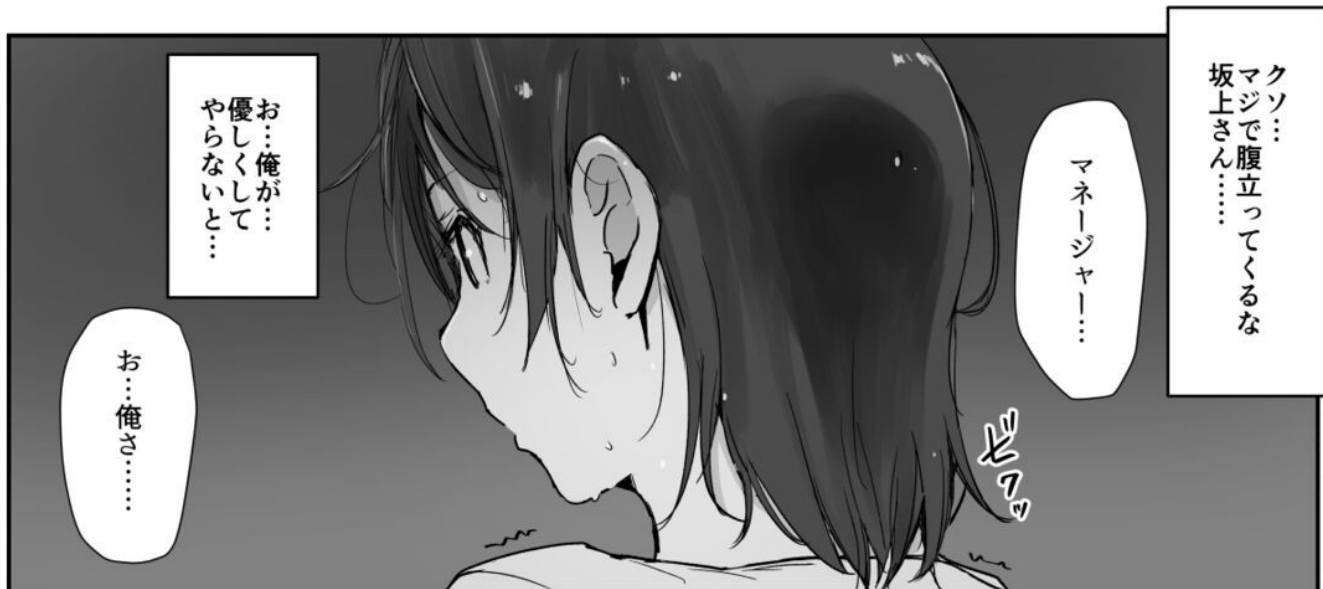
すごい！
頑張って
きたんですね

オレのことを
好きだったかもしれない
マネージャーが……



坂上さんに
ヤラれちまったのか







なんで
そんなこと
言うんだよ...

俺のこと
好きなんじゃ
ねーのかよ

恥ずかし
がつてんのか...?

...でも

それなら
ちよつと強引に
オレからいけば...

マネージャー...

だ...大丈夫
だから...よ

キ...キス
しよう



ほら...
全然抵抗
しねーし

あーやば
キスだけで
射精そう...

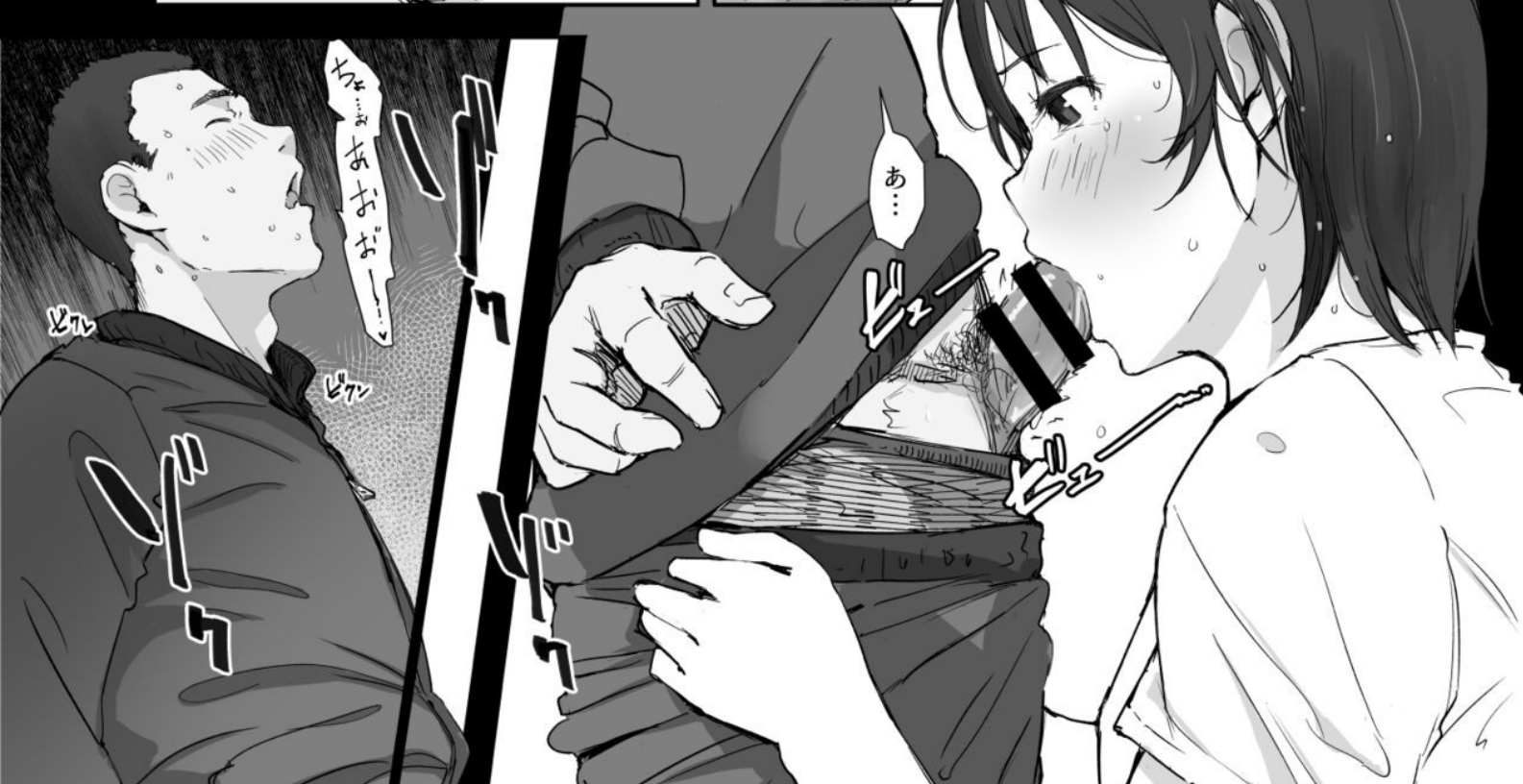


そんなの
恥ずかしすぎる

チンコ
勃起すぎて
いてえ...

やば

もうパンツ
擦れただけで
イキそう...





二年 **土屋晴美**
野球部マネージャー



無理矢理
キスされて

大きく勃起した
おちんちんを
見せられたとき

相原先輩は
このまま
何もしないで
帰っては
くれないと悟った

わたしが
おとなしく
していれば
桐島くんにも
知られずに

何も変わらず
学校生活が
続いていくなら

わたしが
我慢して…

先輩達と
すれば……

そう覚悟を
決めたとき

なぜか

さつきの
坂上先輩との
行為が

頭の中を
駆け巡った

思い出さないように
しようと頑張っても

そうすればするほど
あのときの余韻が
ぶり返してくる





また桐島くん
以外の人に
挿入られて
しまった

すっげえ
気持ちよすぎっ

腰止まんねー

できたら
口だけで
帰ってもらおうと
思っていたのに

彼氏じゃない
人に...

今日だけで
二人目...

ああ...っ
マネージャー...

でも...

一瞬だったけど

気持ちよかった

イクっ!

あっ

おっ
口でして
くれんの？

マネージャー
すげー
スケベじゃん

スマホで
撮っていい？

だっ…
だめ…っ
です

じゃあ服
全部脱いでよ

桑野先輩のは
少し大きめだけど…

フェラは
もういいから
マンコに
挿入れさせろよ

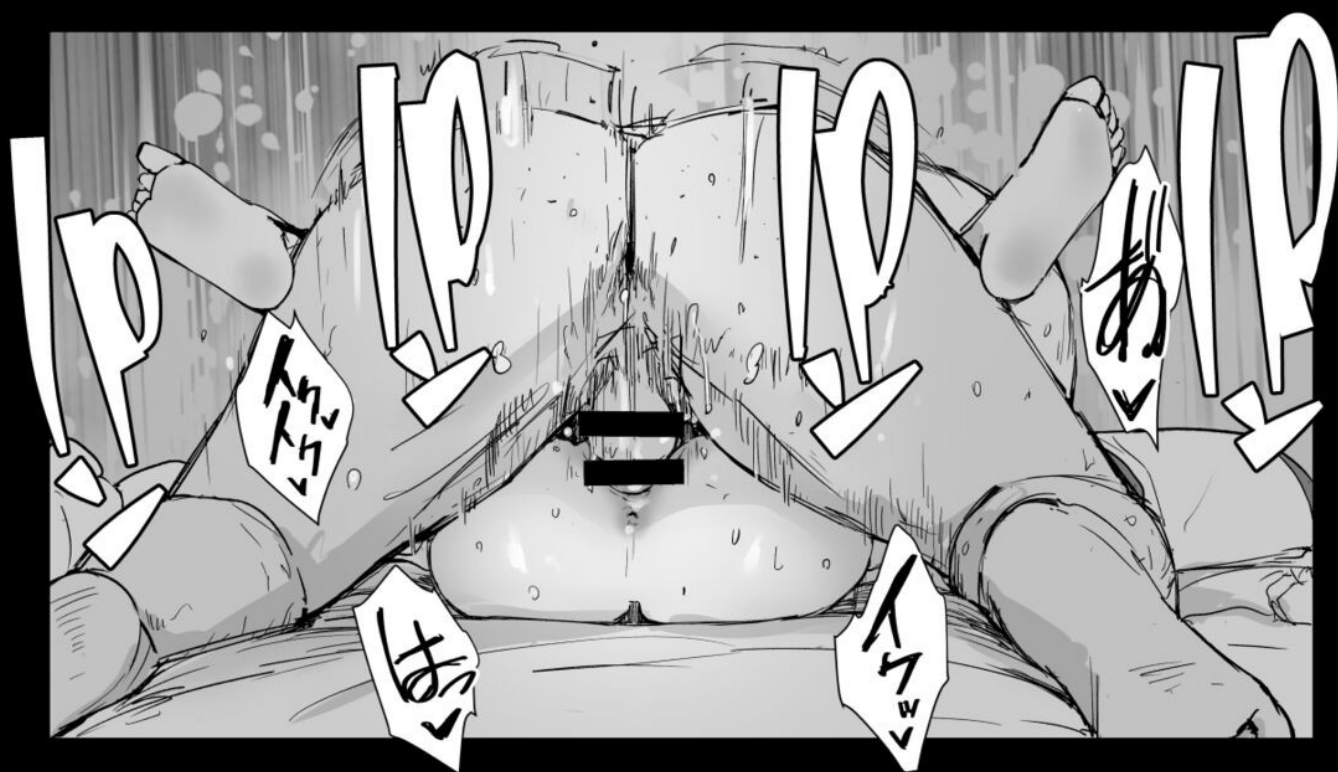
わたしとしては
これくらいが
いいのかも…

でも
フェラでは
イッてくれ
なくて…

こんなの
挿入れたら…
また…

いっぱい突いてほしい……っ





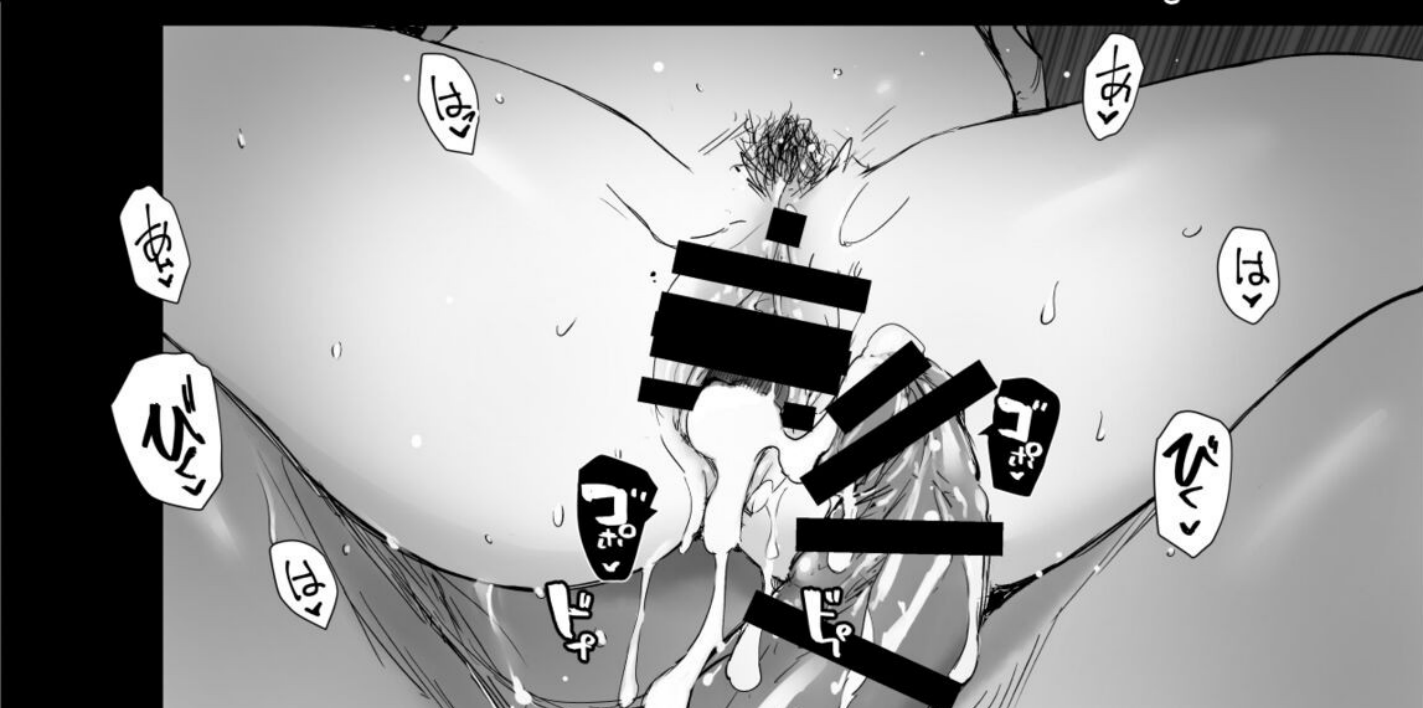
ああ……すいこ

もう……何も
考え……られえ……

頭の中
真っひろに……



……すいこ





僕：なんか
野球部に入ること
なっちゃった：

え
そうなの？

足速いからって：
先輩に無理矢理
誘われちゃって

僕が入れば
試合できて
大会の予選とかも
出れるんだって：

へー
じゃあわたし
マネージャー
しよっかな

え：
いや…でも

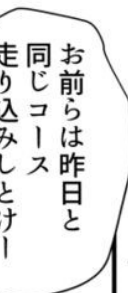


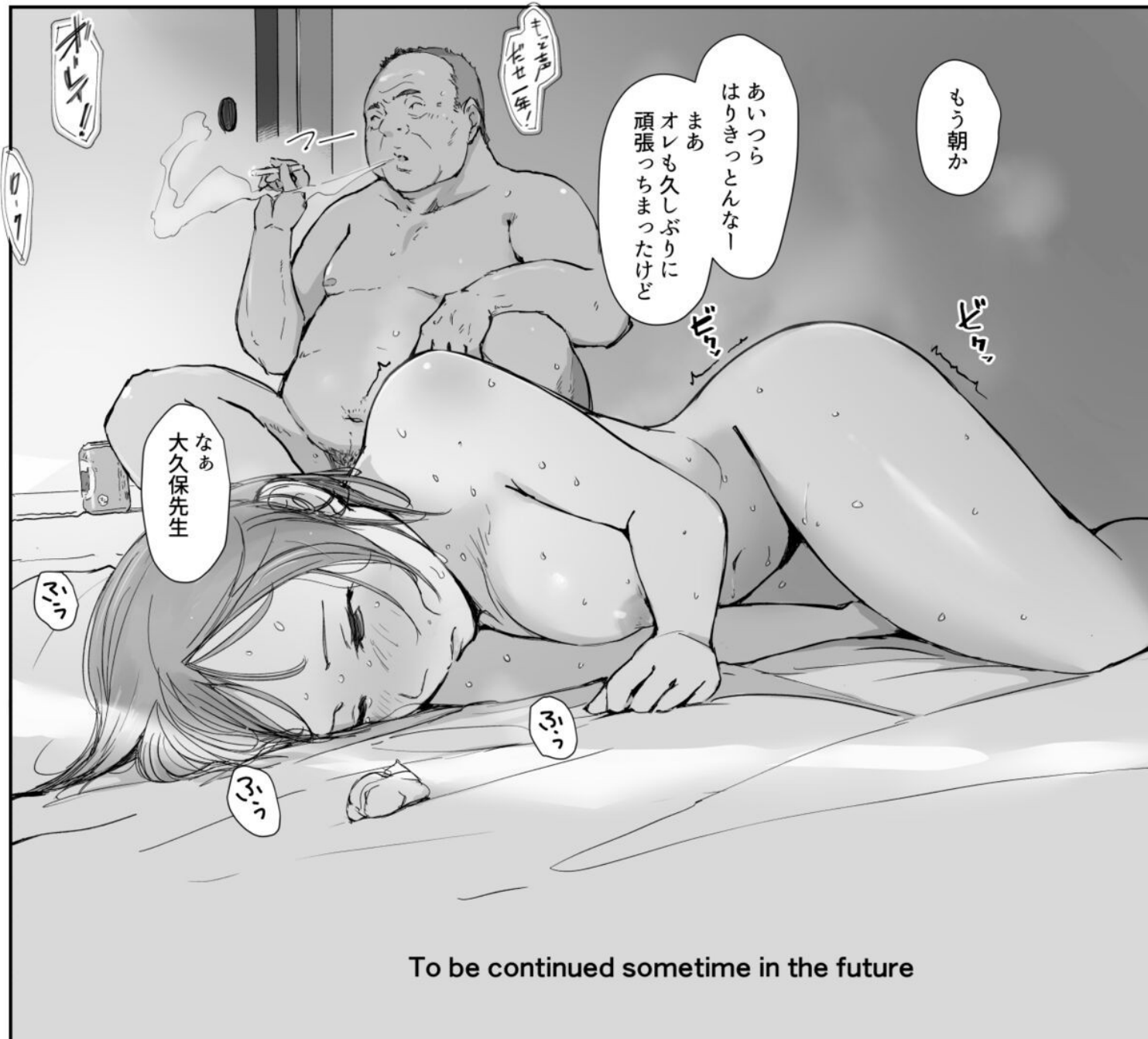
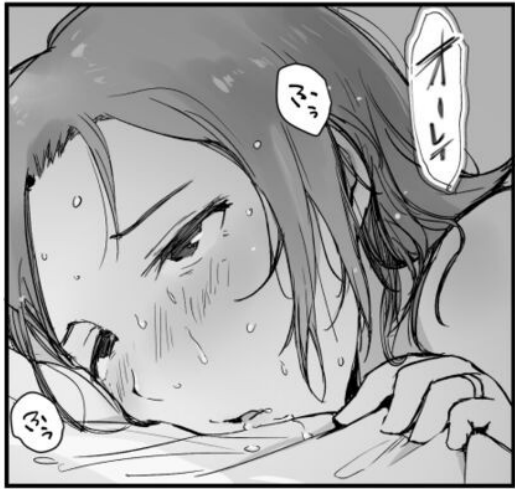
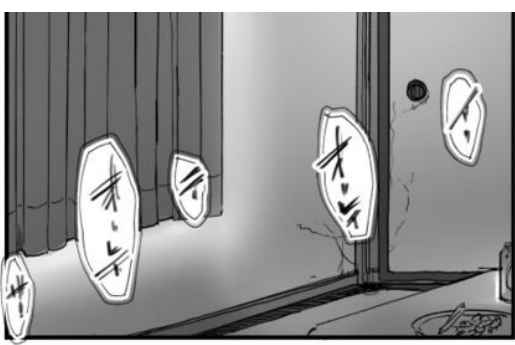
桐島くんと
同じ部活

青春できそう
じゃない？

この前一緒に
見にいった
映画みたいに：

なんてね





To be continued sometime in the future

予告登録していたのに
配信がめちゃくちゃ遅くなってしまいました。
僕はためなやつです。
おこらないで'

僕の彼女は野球部マネージャー ver2.2 ——そして合宿へ

サークル	あらくれた者たち
著者	あらくれ
発行日	第1版 2022.2.20
	第2版 2022.5.5
	第3版 2023.1.6
Twitter	@arakurepoppo



